



NPO 狛江さつき会通信

2017年 9月 30日発行 No.169-00



発行元

NPO 狛江さつき会

〒201-0014
東京都狛江市東和泉 4-1-19-204

TEL / FAX 03-3430-5221
<http://www.satsukikai.org>

郵便振替口座
00140-3-388489

ワークイン・メイ
TEL : 03-3480-8187
may@satsukikai.org

カレーショップ・メイ
TEL : 03-3480-3468
may@satsukikai.org

グループホーム 朋
TEL : 03-3480-0955
tomo@satsukikai.org

地域生活支援センター
リヒト
TEL : 03-3480-6656
<http://licht2004.net>

ショップ便り

バンドフェスティバルに参加しました！

7月23日にバンドフェスティバルに参加し、今回は90食を販売しました。お越し頂いた皆さんありがとうございました。

障害者雇用を行っている施設に見学に行きました

多摩センターにある障害者雇用を行っている店舗、A型を行っている店舗へ行きました。

メンバーの感想

- ・おいしかった
- ・チャイはショップの方が美味だった
- ・参考のために他のお店に行くのは良かった
- ・メニュー立てが参考になった
- ・店員さんの接客が丁寧で取り入れたいと思った



ショップでギャラリーの展示をしたい方募集中です！
お気軽にお問合せ下さい

メイ便り

バジルソース絶賛販売中です！

今年の畑はこれまでとは違った

バジルソースは何年にもわたり、メイの夏の定番商品として作ってきました。

今年の畑は素晴らしかった！バジルが育つ育つ…どんどん育つ…！毎週木曜日の農園作業では行くたびに「バジルの木が大きくなって！」「茂っている茂っている…」とその成長ぶりに皆で驚いていました。1度に3キロ以上の葉が摘み取れる日もありました。次の日の金曜日にはそんな大量のバジルの葉を無駄にしない一心でメンバー・スタッフともに午前・午後をバジルソース作りに充て、作りに作った2017年夏。

～・～・～・～・～作業の様子をここでご紹介～・～・～・～・～



葉っぱを一枚ずつ摘み取って洗います



水けを丁寧に拭き取ります



全ての材料をフードプロセッサーに入れる



8秒間×6回まわします！
1・2・3・・・

完成～！

メイとカレーショップで販売しています！

どうぞご賞味ください。



～～メンバーおすすめレシピ～～

- ★パスタに絡ませるのは定番ですね。
- ★シチューの最後にトッピング！パセリ代わりにいかがでしょう？
- ★食パンに塗って、スライスチーズをのせてオーブントースターで焼くと…美味しいよ！
- ★鮭や鶏肉に塗って焼く バジルの風味で食欲アップ。

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築って何？

精神保健福祉法における医療保護入院のあり方等が変更された平成 25 年の改正から、3 年が経過した平成 28 年、見直しが行われました。厚生労働省は、これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会（以後「検討会」と略記）を設置し、医療保護入院等の見直しを進めていましたが、この議論の過程で、平成 28 年 7 月 26 日に相模原市の障害者支援施設の殺傷事件が起こり、措置入院者が退院後に医療等の継続的な支援を確実に受けられる仕組みの整備にも検討がなされ、精神障害者の支援体制に関して関係機関が協議を行う場の設置等が検討されるに至りました。「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」は、特に地域の中で精神保健福祉障害領域だけに限らず、様々な立場の人たちが精神障害のある方にかかわっていく仕組みを作ろうとするねらいがあります。ここでは、そうしたねらいを中心に、ご説明していきます。

■社会的包摂（インクルーシブ）のための一助として

検討会では、「長期入院精神障害者の地域移行を進めるにあたっては、精神科病院や地域援助事業者による努力だけでは限界があり、自治体を含めた地域精神保健医療福祉の一体的な取組の推進に加えて、地域住民の協力を得ながら、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる包摂的（インクルーシブ）な社会を構築していく必要がある。」とし、社会的包摂の必要性を謳っています。そのうえで、「精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指すことを、新たな政策理念として明確化する。」とし、地域包括ケアシステムの構築が、地域の中で社会的孤立(Social Isolation)をなくするための一つの方法であると位置付けています。

■「我が事・丸ごと」につながる流れ

検討会が設置される 10 ヶ月前、平成 27 年 9 月 17 日に新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチームが報告書を発表しました。それは、「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン—」、また、介護、保育、障害者、生活困窮の一体的提供にむけたビジョン「全世代・全対象型地域包括支援体制」の構築といった、地域を中心とした全ての困りごとのある人を包括的に支援していくという方向性を持つものでした。

この流れが、その後平成 28 年 7 月の「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部の開催につながって

いき、検討会もこの流れに強く影響されていると想像できます。

■精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムとは？

この流れを理解した上で、狛江市における精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムとはどのようなものか考えてみましょう。

第一に、「障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、市町村などとの重層的な連携による支援体制を構築する」ということが示されています。東京都においては、障害福祉圏域は 1 つとされていますので、具体的には狛江市内で保健・医療・福祉関係者に協議の場を設置することになるでしょう。

第二に、「長期入院精神障害者のうち一定数は、地域の精神保健医療福祉体制の基盤を整備することによって、地域生活への移行が可能であることから、平成 32 年度末・平成 37 年（2025 年）の精神病床における入院需要（患者数）及び、地域移行に伴う基盤整備量（利用者数）の目標を明確にした上で、障害福祉計画等に基づき基盤整備を推し進める。」とあります。具体的には、平成 32 年度末までは、人口 1 万人あたり 1 名の退院可能な精神障害者がいるため、狛江市では年間 8 人程度の基盤整備を進めることとなります。加えて平成 37 年度末までに、人口 1 万人に対し 3 人の退院可能な精神障害者がいるため、年間 24 人程度の基盤整備を行うこととなります。多くの精神障害者が地域で生活していけるために多層的に体制作りをする必要があります。

グループホーム朋からのお便り

私の理想の暮らし

入居者の皆さんから、『理想の暮らし』についてそれぞれコメントをいただきました。

●家事がしっかりできるようになって、仕事もできて、週1で好きなアイドルに会いに行きたい！！ 【T. R】

●人間関係がとにかくスムーズにいきたい。 【匿名】

●何事にもゆとりのある生活が理想です。 【匿名】

- ・ムダな物は買わない。
- ・一人で充実した生活。
- ・ガッポリと仕事でかせぐ。
- ・何でも自分でこなす。
- ・友人をつくる。
- ・楽しみをつくる。
- ・健康で長生き。

以上7カ条 【K. K】

お知らせ

グループホーム朋入居者K. Kさんの絵画が東京ジョブコーチ2017.9【第11号】の表紙に掲載されました。

題名は『私の理想の一人暮らし』です。裏表紙にK. Kさんの履歴も載っています。とても味わい深い絵になっています。

●疲れがぬげないぐったりしているのが日中つづくことなく、すっきりするくらいの十分な睡眠をほぼ毎日できて、趣味も家事もやるべきことができる余裕をいつも持ちあわせていて、そういうコンディションを維持しつづけられる工夫ができれば、毎日が充実していただけるのではないかと思います。 【Y. K】

●現在A.D. 2017 9月のある屋下がりの一時 ベットの片隅に片肘ついてガラス窓を開けながら・・・と言ってもこれこの時(9月某日)ばかりの様子ではありませんが、いつもそれとしても間違っても眼まぐるしい程に衝撃的に気持ちをどうてんさせることシキリという事は皆無であり、とても香ぐわしくも優秀でありますと保証付きのなだらかで落ち着いた麗(うららか)な慰安に意識もまどろまされるゆったり気のままにラジオを聴きながら、折にふれるかに懐かしくハイカラだった時として珍奇で滑稽だったり時を巡らされるぐらいに喚起させられる琴線瞑刻に過去の精象もそれとなくうかがわせるかの、しかしさりげなくねんごろに浮き世を浮き浮き世の成り移ろいのしらずしらずの自然体のままふと心をかすめる暮らし向きに、モトハウス 101 様様しきりであります。 【N. Y】

NPO 狛江さつき会理事会議事録

—平成29年度第3回—

日時 平成29年9月8日(金) 17:30~19:30

出席 三島、高橋、森澤、安藤、松川(理事)、加藤(監事) 委任 櫻井(理事)、神野(監事)

<報告>

1・各事業所から

メイ…利用者42名 見学者1名

平均工賃 7月5,304円・8月5,398円

ショップ売上 7月322,880円(前年比94%) 8月234,240円(前年比89%)

7/23(日)バンドフェスティバル参加 カレー80食販売

8/22(火)家族会講演会「心の病があっても地域でつとめ暮らしていくには」講師：高橋・大谷

9/1(金)外出プログラム実施(多摩センターのA型作業所)

◆狛江市福祉農園当選 10月から使用決定!

◆10/1(日)ボランティアのつとめ参加予定

◆11/9(木)日帰りバス旅行 箱根を予定

朋…利用者9名(定員11名) 体験宿泊2名 見学者1名

9月中に新規入居者1名予定

リヒト…地域移行支援利用者2名 計画相談利用者140名 地域定着支援事業利用者20名

フリースペース登録者70名

2・施設長会議から

あいとびあセンター改修中のリヒト事務所確保について、狛江市からは費用の補助はできないと連絡あり。

各事業所の業務分担表を事務局に提出

3・事務局より

ワークイン・メイの新規事業についてヒアリングを実施。現場の意見を聞き、継続して検討していく。

4・関係団体より

狛江さつき会(家族会)

創立30周年記念講演会

10/24(火) 13:30~「心の病に必要な支援とは何か…」講師：東京つくし会副会長 川崎洋子氏

<協議検討事項>

1・リヒト常勤職員採用について面接を実施する【承認】

2・あいとびあセンター改修中のリヒトの事務所確保について

人員配置と経費の見積もりを書面で提出してほしい→11月理事会で検討

3・職員給与について

引き続き検討する

以上

次回理事会：平成29年11月10日(金) 17:30 カレーショップ・メイにて開催予定

NPO狛江さつき会 10月・11月の予定

(法)＝法人 (リ)＝リヒト (メ)＝就労支援事業所メイ (ワ)＝ワークイン・メイ
(カ)＝カレージョップ・メイ (GH)＝グループホーム朋

2017年10月

February						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 <small>(法)17:00事務局会議</small>	7
8	9 <small>体育の日</small>	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30 <small>(リ)振替休所</small>	31				

2017年11月

March						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 <small>文化の日</small>	4
5	6	7	8	9 <small>(ワ・カ)研修日帰り旅行</small>	10 <small>(法)17:30理事会</small>	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 <small>勤労感謝の日</small>	24	25
26	27 <small>(リ)振替休所</small>	28	29	30		